

金閣寺

宮内魁大

(2018年入学 鈴木ゼミ2期生)

今回私は神社をテーマに選んだ。なぜなら観光地がとて多いからだ。私は京都と言ったら抹茶の次に神社を思い浮かべた。金閣寺、清水寺、伏見稲荷大社、東寺などたくさんある。観光客が集まってくるのもそれが目当ての人達が多いと思う。その中で今回深く調べたのは「金閣寺」だ。なぜなら小さい頃はじめて京都に来た時行った場所だからだ。その時の記憶は今でも残っている。ここでは、金閣寺を紹介と見所を紹介できたら良いかと思う。

<歴史>

まず金閣寺とは正式名称を鹿苑寺（ろくおんじ）といい、臨済宗相国寺派の塔頭寺院の一つで、創設者である足利義満の法号、鹿苑院殿（ろくおんいんの）から名付けられた。元々、鎌倉時代に西園寺公経が所有していた土地に建立された西園寺・北山第という別荘が始まりとされている。鎌倉幕府の倒幕後、西園寺家は権力を失い土地を手放すこととなった。室町時代に入り荒廃していたこの場所を室町幕府第3代将軍であった足利義満が譲り受け、1397年に山荘北山殿が造営されることとなった。これが金閣寺となったと言われている。1950年には、当時見習い僧侶であった大学生によって放火され、造営当時の建物は全焼してした。この事件は社会を揺るがし、三島由紀夫や水上勉などの作家によって事件を題材にした長編小説が執筆された。焼失以前に計画されていた解体修理の設計図を利用し、1955年に創建当時に近い状態で再建され、象徴的な全面金箔貼りの金閣寺が蘇った。そして1994年には「古都京都の文化財」として世界文化遺産に登録された。

<建築形式と間取り>

鹿苑寺舍利殿の建築形式。1950年に焼失する前の金閣と1955年に再建された金閣とでは細部に違いがあり、以下の説明は再建金閣についてのものである。金閣は木造3階建ての楼閣建築で鹿苑寺境内、鏡湖池（きょうこち）の畔に南面して建っている。屋根は宝形造、柿（こけら）葺きで屋頂に銅製鳳凰を置く。3階建てであるが初層と二層の間には屋根の出を作らないため形式的には「二重三階」となる。初層は金箔を張らず素木仕上げとし、二層と三層の外（高欄を含む）は全面金箔張りとする。三層は内部も全面金箔張りである。初層と二層は通し柱を用い、構造的にも一体化している。三層は一回り小さく方3間である。

初層は「法水院」と称し正面の一間通りを吹き放しの広縁としその奥は正面5間、側面3間の1室とする。正面の5間は等間ではなく西から2間目の柱間が他より広がっている。

二層は「潮音洞」と称し、四周に縁と高欄をめぐらし、外面と高欄を全面金箔張りとする。西側は正面の間口3間、奥行1間分を吹き放しの広縁としその奥に位置する方3間を仏間とする。東側は正面2間、側面4間の1室とし、仏間との間は遣戸で仕切られる。

三層は「究竟頂」（くつきょうちょう）と称し、方3間の1室で、仏舍利を安置する。初層が蔀戸を用いた寝殿造風、二層が舞良戸、格子窓、長押を用いた和様仏堂風であるのに対し、三層は棧唐戸、花頭窓を用いた禅宗様仏堂風とする。高欄も二層のそれが和様であるのに対し、三層のそれは逆蓮柱を用いた禅宗様である。

<金閣寺の見所>

・舍利殿

金閣寺として有名な金色の建物は、鹿苑寺の仏骨を安置するお堂として用いられる舍利殿である。4枚の三角形の屋根をあわせた宝形造りという建築様式で、三層からなる造りになっている。一層は公家風の寝殿造（しんでんづくり）で法水院（ほつすい いん）、二層は武家風の造りで潮音洞（ちょうおんどう）、三層は禅宗様式の造りで究竟頂（くつきょうちょう）と呼ばれている。うち上の二層に金箔が張られており、屋根の上には黄金の鳳凰像があしらわれている。公家文化と武家文化が融合した北山文化の代表的な建造物だ。

・鏡湖池

金閣寺の美しい姿を水面に映す鏡湖池（きょうこち）を湛えた庭には、池泉回遊式庭園の作りで、国の特別名勝、特別史跡にも指定されている。この鏡湖池には一番大きな葦原島や、縁起のいい神聖な生き物である鶴と亀を模した鶴島、亀島、石で表現された畠山島など大小数個の島が作られており、観賞する角度によって異なる表情を浮かべられている。特別史跡ならびに特別名勝に指定されている。

・夕佳亭

夕佳亭（せっかてい）は鏡湖池の北側にある数奇屋造りの茶室である。南天の床柱と萩の違い棚で有名で、「この茶室から夕日に映える金閣を見るのが特に佳い」ということから名付けられました。

・雪の金閣寺

雪がうっすら積もった金閣寺は、黄金色の輝きが一層と増し、最も美しいともいわれている。京都市内では雪が積もるのは年間でも数日ほどで、とても貴重な情景である。境内全体に雪化粧をした金閣寺は、普段よりも幻想的な雰囲気をもっている。毎年2月上旬ごろに積雪が観測されているみたいだ。私が小さい頃見に行った時もその季節で時間帯は朝一番だったので、その時間帯がベストだと考える。金閣寺公式サイトではライブカメラ映像も配信しているみたいなので冬の金閣寺にお越しの際には天気予報と合わせて事前にチェックしておくのもいいかもしれません。

<まとめ>

このように金閣寺は見所がたくさんあり、多くの観光客に愛されている。他にも有名な所はあるが、それは次回に紹介しようと思う。

参考文献

金閣寺・銀閣寺の住職が教える 人生は引き算で豊かになる (有馬頼底、文響社)
京都神社めぐり (昭文社)



焼失後の合興寺 昭和25年7月2日

